



# D&B 景況感指数—シンガポール

2013 年第 4 四半期

www.dnb.com.sg

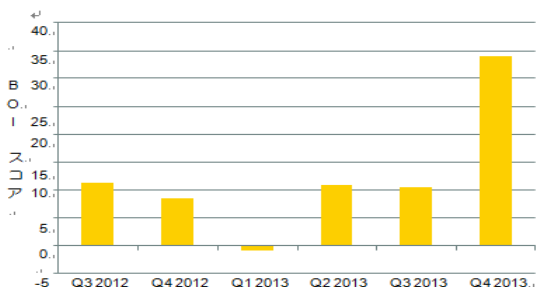
## 企業は楽観的な見方を強める

### 2013 年第 4 四半期見通し ハイライト

- 景況感指数は+33.98%で、前四半期比 23.45%増、前年比 25.49%増
- 6つの指標すべてが増加（前四半期比）
- 楽観視している企業が最も多かったのは売上高で+50.8%
- 楽観視している企業が最も少なかったのは販売価格で +16.7%

2013 年第 4 四半期の景況感指数（BOI）は、調査対象企業が、第 4 四半期の景況を楽観視していることを示しています。楽観的見通しから悲観的見通しを差し引いたネットの BOI は、前四半期の+10.53%から大幅増の+33.98%に達しています。回答企業の 41.46%（加重計算したネットの数値）がビジネス環境の改善について楽観視したのに対し、悲観的な見通しを示した企業は 7.48%（加重計算したネットの数値）にとどまりました。前年と比較分析すると、BOI は前年同四半期の+8.49%から 25.49%増の急上昇を見せています。

2013 年第 2 四半期、シンガポール経済は、季節調整済み GDP が前四半期比 15.5%増加し、好景気の影響を受けました。製造業及び貿易関連サービス業は堅実な利益を計上し、成長が、前四半期に見られたような国内需要への依存から、外需型の活動にも拡大していることを示しています。



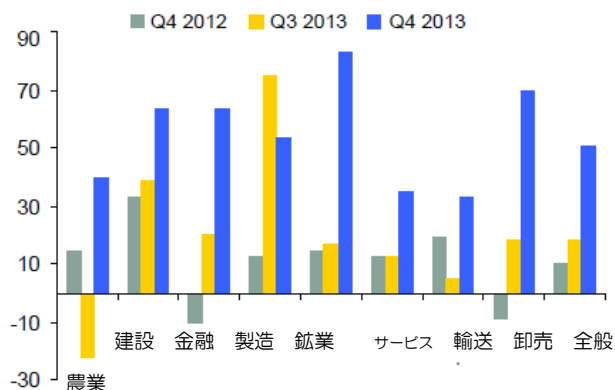
シンガポールの今年の GDP 成長率は、2.5~3.5%の成長というのが大方の予測です。この成長予測は、以前出された 1~3%という予測から上方修正されています。引き続き海外要因によるリスクは残るものの、グローバル経済の循環的回復は年末に向かって、わずかながらも改善すると見込まれています。このように、海外需要と国内中心の経済活動の継続的回復のこれまで以上に強い下支えにより、シンガポール経済は、下半期、中程度の回復路線を歩むと予想されます。

8 月、シンガポールのインフレ率は、前月から 0.1%アップの 2%となりました。住宅費の上昇は、7 月は公共住宅（HDB）居住世帯を対象とした住宅購入に係る修繕維持費（S&CC）割戻金の支払いがあったため 2.6%でしたが、8 月は 4.2%となりました。また、持家の帰属家賃はインフレ全体を 0.7%押し上げていますが、最近政府が導入した住宅ローン返済比率（MSR）及び総債務返済比率（TDSR）の影響を反映して、7 月の 0.8%から微減となっています。食品価格は、主に屋台やレストランでの食事が高くなったために、7 月の 2.1%から 8 月には 2.4%に上昇しました。

シンガポール金融庁（MAS）は、第 2 四半期、同国が 180 億ドル（本段落はすべてシンガポールドル）の経常黒字を計上すると見込んでいます。シンガポールの 8 月の貿易黒字は、前年 8 月の 35 億ドルからやや増加して 40 億ドルを計上しました。輸出は、7 月に 5.1%増を記録したのに続き、前年比増の 434 億ドルとなりました。これは、主にマレーシア、香港、オーストラリアへの原油売上高の増加に牽引されたものです。

インターナショナル・エンタープライズ（IE）シンガポールによれば、8 月の電子機器輸出は、IC（集積回路）（-14.6%）、PC 部品（-23.5%）、ディスク媒体商品（-16.9%）の出荷減少により、前年比で 9.2%減少しました。製薬（-31.1%）、船舶構造物（-95.8%）、芳香族化学品（-54.4%）の大幅な落ち込みにより、8 月には電子機器以外の輸出も 4.7%減少しました。前年比では、原油以外の輸出は、8 月に 6.2%縮小しました。

### 売上高

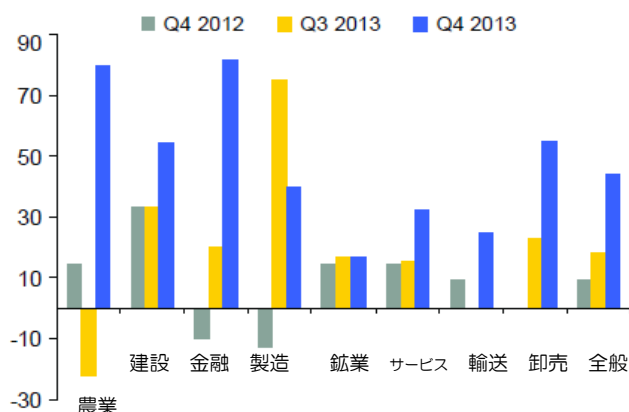


楽観的な見通しの企業数（加重計算で 58.0%）が悲観的な見通しの企業数（加重計算で 8.0%）よりも圧倒的に多く、全セクターが第 4 四半期には売上高が伸びると予測しています（ネット+51%）。最も楽観的なのは鉱業（ネット+83.3%）で、それに卸売（ネット+70.0%）、建設及び金融（両方ともネット+63.3%）セクターが続きます。

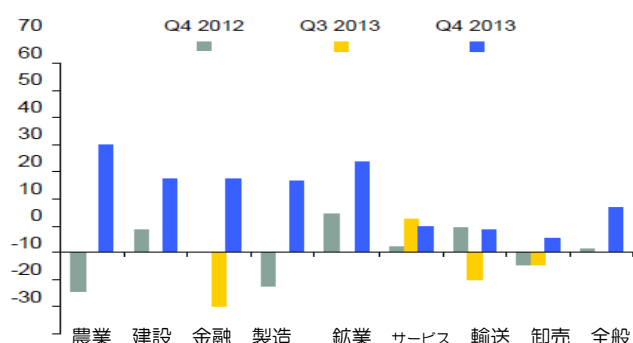
卸売販売の成長は、ばらつきはあるものの、電子機器再輸出の伸びに後押しされました。上半期の輝かしい実績に続き、金融業界の中でも金融仲介業や市場センチメントの影響を受けやすいクラスターが売上高の伸びを見込んでいます。

### 純利益

調査対象企業のネットで 44.17%の企業が、第 4 四半期には純利益が増加すると見込んでいます。これには、主に金融（+81.82%）及び農業（+80.0%）セクターが寄与しています。対照的に、鉱業は最も楽観的な指数が低かったのですが、調査対象となった鉱業企業の +16.67%（加重計算したネットの数値）が、来四半期の純利益については楽観的な見通しを持っています。売上高と同様に、全セクターが、第 4 四半期の純利益については強気です。現地農業企業も、世界的な需要の高まりと一人当たりの農産品消費の増加の恩恵により、純利益が増加すると期待しています。

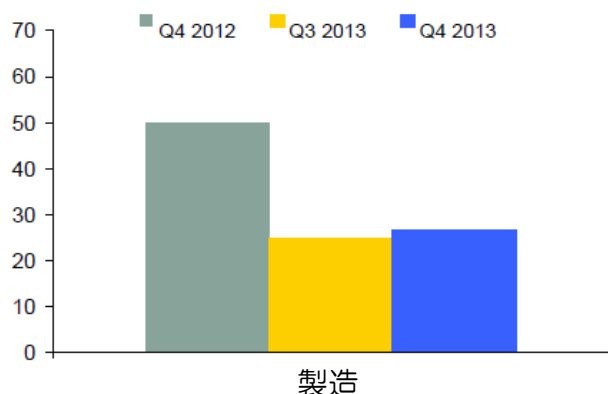


### 販売価格



第販売価格は上昇する見通しです。どのセクターも上昇するとの見通しを持っていますが、特に農業（ネット+40.0%）と鉱業（ネット+33.3%）でこの傾向が顕著です。実際、調査対象となった農業セクターの企業で、販売価格が下落すると予測した企業は皆無でした。資源の制約の高まりと環境圧力の高まりが世界的に供給の動きを抑制する見通しであることから、コモディティ、農作物、畜産製品の販売価格は上昇しそうです。セクター内での販売価格の上昇についても、ペースは鈍化しているとは言え、発展途上国での農産品需要の高まりが大きな推進要因となっています。

### 新規受注



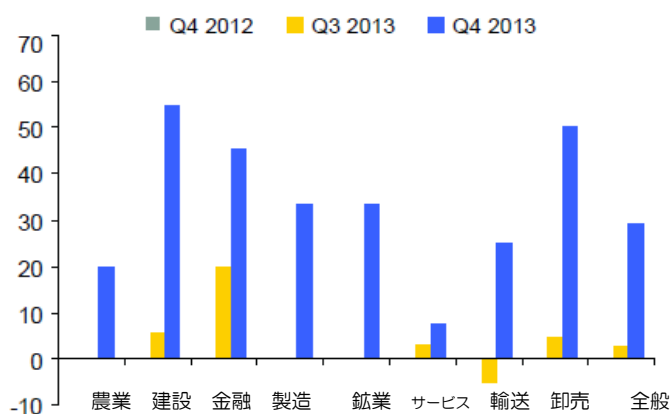
期待以上の景況見通しを受けて、現地製造企業は新規需要の伸びを見込んでいます。調査対象企業の約 33% が第 4 四半期は横ばいと予測する一方で、残りの企業は評価が分かれています。現地アナリストの大半は、堅調な製造業生産高はすでにピークを過ぎており、今年は中国の低成長がシンガポールの輸出の縮小要因になりそうだと考えていますが、グローバル経済が徐々に持ち直してきていることから、輸出中心の製造業にとっては 2013 年はある程度良い年になる見込みです。2013 年の最終四半期の新規受注の縮小はないとみるべきでしょう。

注：新規受注の調査対象は製造業のみです。

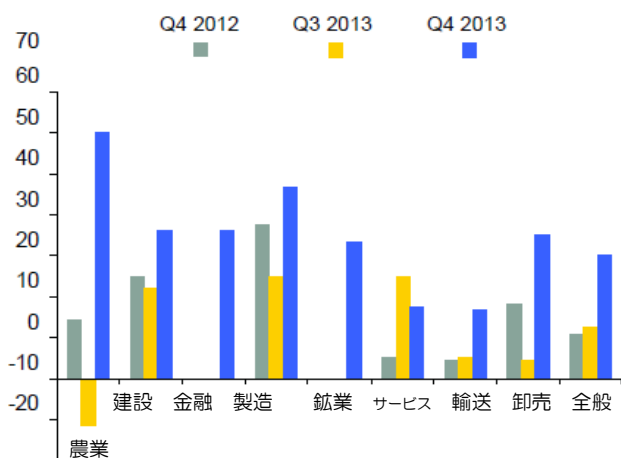
### 在庫

在庫についての見通しは全体として大きく改善し、在庫についての増加幅としては最大となりました。

建設、卸売、金融セクターに強気に牽引され、全体の指数は約+29.0%となりました。その他のセクターもすべて、第 4 四半期の評価については強気です。建設業における在庫増加の予測は、民間部門の活況に支えられています。総債務返済比率（TDSR）導入により住宅需要が冷え込みましたが、住宅開発局（HDB）の暫定データは、8 月には個人住宅販売が 8.9%増加し、盛り返してきたことを明らかにしています。



### 従業員数



回答者の大多数（94%）が、2013 年第 4 四半期の従業員規模は横ばいとの見通しを持っています。回答者の約 5%が従業員規模の拡大を予測している一方で、回答者の約 1%は従業員数を削減する見込みです。

その結果、従業員に関する景況感指数は 4%となりました。これは、2013 年第 3 四半期よりも 2 ポイント低く、2012 年第 4 四半期よりも 1 ポイント高くなっています。この指標に関して最も楽観的なセクターは、輸送、農業、鉱業でした。



# D&B 景況感指数—シンガポール

2013 年第 4 四半期

[www.dnb.com.sg](http://www.dnb.com.sg)

## 景況感指数 (BOI) レポート

D&B 景況感指数レポートは、ビジネス界が景気に対して抱く印象を測定したもので、投資家にとって信頼できるベンチマークになる商品として評価されています。D&B 景況感指数は、四半期毎の景況感調査に基づいて出されます。長年のうちに、この四半期毎の調査は、対象各国の経済活動のターニングポイントを示す有数の指標になってきました。

### 調査方法

本調査の実施において、サンプルは農業、鉱業、建設、製造、輸送、卸売、金融、サービス、公共事業などの業種の企業により構成された D&B データベースから無作為に抽出しています。

本調査回答者全員に、所属企業が売上高、純利益、販売価格、新規受注、在庫、従業員数という重要指標に関して、次の四半期は前年同期比で増加するか、減少するか、変わらないか見通しを示していただくという 6 つの標準的質問にご回答いただきました。各要素の指数については、増加すると予測した回答者のパーセンテージから、減少すると予測した回答者のパーセンテージを差し引いて計算しました。特に断りがない限り、各指数の増減は前四半期からの増減を指しています。

詳細については、当社ウェブサイト ([www.dnb.com.id](http://www.dnb.com.id)) をご覧いただくか、当社カスタマー・サービスセンターへお電話 (+62 21 57900979) またはメール ([csr@dnb.co.id](mailto:csr@dnb.co.id)) でお問い合わせ下さい。



Decide with Confidence

ダン・アンド・ブラッドストリート® (D&B) について

ダン・アンド・ブラッドストリート (NYSE:DNB) は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172 年にわたって企業の「Decide with Confidence® (確信のある意思決定)」を支援してきました。D&B のグローバル商業データベースには、2 億 2500 万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供する D&B 独自の DUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。この質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。

詳細については、当社ウェブサイト ([www.dnb.com](http://www.dnb.com)) をご覧下さい。

© Dun & Bradstreet, Inc. 2013. 著作権所有